

らえるらえる

Well Well

第18号

どうなる日本の透析医療は！ どうなる坂井瑠実クリニック！

医療費改定について



坂井瑠実クリニック理事長
坂井 瑠実

またまた診療報酬改定。この4月から大幅な医療費の切り下げが行われるようになりまし。長年の透析医療のかかわりの中から、良い水と良い透析膜、QOLを考えてワンパターンでなくその人にあった透析を心がけるよう努力してきました。十分な透析の時間を確保する事こそが良い医療と確信し、そして常に最高の透析医療を提供できる施設を目指してスタッフ一同頑張ってきたつもりです。保険請求が出来なくても患者の皆さんが元気にいられることを喜びとして、隔日透析、長時間透析、深夜寝ている時間の透析を試み、この連休明けから本院でも日曜日の透析を計画していた矢先の診療報酬改定です。今の透析は3時間の透析も、6時間の透析も同じ点数、どんなに検査をしても、まったく検査をしなくても同じ。加えてこのたびの改定では、夜間、休日加算が減点になりました。又ほとんどの透析患者さんに必要なエリスロポエチン製剤がマルメ、即ち、エポの使用の有無にかかわらず点数が一緒になってしまったのです。開院当初から一番多く使われているポリスルホン膜のダイアライザーの価格も一本につきほぼ500円ダウンで、経営に暗い坂井瑠実でも今回は危機感を募らせています。一般的にはこの度の改定は医療の質を下げるような改定でもない改定と言われていますが、私の辞書には「医療の質を下げるはありませんで、歴史も体力もない坂井瑠実クリニックにとってはことさら重大問題です。でもギブアップするわけにはいきません。どうすれば思い通りの透析医療を続けることが出来るのか！坂井瑠実クリニックはどうなる！と日夜頭を悩ませています。そこで皆様へお願いです。「自立」「予防」「自己管理」をキーワードに、尿毒症は命にかかわる寸前まで決して自覚症状が出ないことをもう一度思い出して、透析時間は短いほうが良いなんていうのはやめて、十分透析をして下さい。合併症予防は医療費の低減につながります。優秀なスタッフを育てることこそクリニックの使命、少数精鋭でスリムなクリニックを目指せば何とか生き抜いていける！と思います。準備に手間取っても、ホットバックが用意されなくても少しだけ我慢して下さい。ご自分で出来ることは積極的に行ってください。医療の質と、安全性は保障します。

それでもなおかつ厚労省は毎年改定を行うと言っています。良い医療を続けるためにこれ以上の改定がないことを強く強く願っています。

診療報酬改定

診療報酬とは医療者が受け取る料金を国が定めたもので2年に1度改定があり、そのつど医療機関に大きな影響を与えています。平成14年の改定により透析では10%の削減が実施され、このとき透析技術料が大幅に引き下げられ、透析時間区分が廃止されました。今回の改定はこれを上回る引き下げです。

- ① 慢性維持透析患者外来医学管理料の引き下げ
検体検査（血液検査・検尿・検便）心電図、胸部写真は、この管理料に包括されています。今回これが2460点から2305点に引き下げられました。（1点10円）
- ② 夜間加算及び休日加算の引き下げ。500点から300点に。
- ③ ダイアライザーの大幅引き下げ。区分が細分化され下げ幅は一本1,000円～140円。当院で一番多く使われているもので約500円の引き下げとなります。
- ④ 透析技術料はエリスロポエチン製剤（EPO）が包括化されて2250点。ヘパリン、生食などがこれまで含まれていましたが、今回新たにEPO製剤が加わりました。これは従来の1960点にEPO製剤の点数が加わったもので引き上げではありません。
- ⑤ この他CAPD関連、薬剤、初診再診料等が引き下げられました。

坂井瑠実クリニック創立からの診療報酬の変遷

	H10年開業時	H14年～	H18年～
人工腎臓 1日当たりの技術料	2110点 (4H以上5H未満) 2210点 (5H以上)	1960点 時間枠廃止	2250点 EPOを含む
慢性維持透析患者 外来医学管理料 月1回	2900点	2670点	2305点
ダイアライザー 膜面積1.5m ² 以上 当院で一番多く使用の 1本あたり	4180円 (回路、針、消耗品 を含む)	3190円 (同左)	2350円 (同左)
夜間加算	500点	500点	300点
その他		食事加算廃止	

平成18年4月より生活保護の方を除く全員の方に一部負担金の支払いが必要になります。

	重度障害者医療費受給者証の方 高齢重度障害者医療費受給者証の方	自立支援医療受給者証（旧更生医療）の方 （神戸市の方のみ）
外来	1医療機関あたり 500円 （月2回/1000円を限度） 低所得の方 300円 （月2回/600円を限度）	1医療機関あたり 500円 （月2回/1000円を限度） 低所得の方 300円 （月2回/600円を限度）
入院	1医療機関あたり 2000円/月 低所得の方 1200円/月 （4ヶ月目以降の一部負担金の徴収なし）	1医療機関あたり 2000円/月 低所得の方 1200円/月 （4ヶ月目以降の一部負担金の徴収なし）

注意

- 1、薬局は別途請求になります。（重度障害者医療費受給者証と自立支援医療受給者証は別々の請求です。）
- 2、同一の医療機関であっても外来と入院は別途計算となります。
- 3、入院時の食事療養にかかる標準負担額は、全額自己負担です。（1食につき260円）

第3回近藤宏二杯ボウリング大会



日野 千賀子

今年も2月5日に神戸ボウリング倶楽部で近藤宏二杯ボウリング大会が開催されました。私は、ボウリングなんて苦手だと思っていたのですが、岡田さん達に誘われて初参加しました。当日はスタッフと患者さんが大勢参加されて、一緒に楽しくゲームが出来ました。私の場合は、ボールの行く方向はボールに聞いてといった感じでしたが、それでもストライクが2回も出て出来でした。多分一緒にやってくれた方々が良かったからだと思います。ハンデイーも貰ったおかげで29位で、近藤宏二賞をいただきました。びっくりです。賞品は、コンフォート枕をいただきました。普段、賞には縁もないので貴重な経験です。近藤さんがどこかで応援してくれたのでしょうか？私は、今年で透折24年目になります。前の病院でまだ導入して間もない頃、近藤さんはすでに透折技士としてがんばっておられました。あれから20数年経って今、近藤さんの名前を冠したボウリング大会に参加しているなんて信じられない気持ちです。患者さんが元気にスタッフと一緒に和気あいあいとゲームに興じていることに改めて幸せを感じました。ゲームが終わって後のパーティーは、三宮の中華料理店。上手に安くて美味しい処を探して下さって、皆さん大賑わいで飲み放題のビールを飲みながら歓談していました。坂井理事長先生の熱意あふれるお話におおいに透折ライフも希望を与えられる思いがし、患者さんも日頃の思いを語り合ったり、余興のビンゴゲームに又盛り上がりたり、予定の時間も延長気味で、司会進行役の岡田さんがやっとなめくくってお開きになりました。ともあれ楽しい1日でした。お世話してくださった方々、ありがとうございました。

THEドクター リレー随筆



岡本 久美

本の中の神戸

小さな頃から病気がちだった私は、本好きだった両親の影響もあり、本棚にあるものを片端から引っ張り出しては、本の中に出てくる登場人物になりきったり、知らない土地を想像したりするのが好きでした。はじめて本の中で、私が神戸と出会ったのは小学校1~2年生の頃読んだ「くまのパディントン」でした。（福音館書店からシリーズで7冊くらい出て



います）物語の舞台はロンドンです。ペルーからきた難民のくまがパディントン駅でブラウンさん一家と出会い、パディントンと名付けられて一緒にくらすようになるとてもたのしいお話です。翻訳物なのですが、訳がすばらしいのです。きちんとしていてリズムがよくて読みやすく、しかもユーモアがある。私は子供ながら、このような文章を書く翻訳家という仕事にあこがれました。本の終わりの方を見ると、翻訳者の松岡享子さんという方が紹介されていて、神戸女学院大学卒業と書いてありました。この一行は私がはじめて神戸という土地を知り、親しみを覚えるきっかけになりました。

他に本の中の神戸を私の記憶から手繰ってみると、灰谷健次郎の「太陽の子」は、神戸が舞台でした。こどもが主人公だったけれど、戦争、地域格差、貧困など社会問題がテーマで難しかった覚えがあります。

そしてなんといっても谷崎潤一郎の「細雪」では、4人姉妹のうちの次女が暮らすのが神戸、しかも御影でした。姉妹の生活とともに坂道や石段、自然の美しさが描かれています。お花見は京都へでかけるのでしたね。水害の話も出てきます。私は6月に神戸市から災害マップが配布されるたびに、細雪の中の川の氾濫のシーンを思い出してしまいます。

舞台芸術家、妹尾河童さんの「少年H」も好きです。第二次大戦中の神戸で暮らす妹尾少年と家族やその周辺を描いた自伝的小説なのですが、少年の純粋な感性といきいきとした発言、行動にはげまされます。妹尾河童さんは「河童ののぞいたヨーロッパ」など随筆も大変おもしろくおすすめです。

春の気候に誘われて、本の舞台になった街を散歩してみませんか。



Profile



壱岐 正

今年83歳の壱岐正さんは開院間もない坂井瑠実クリニックで透析を導入されました。透析暦8年、高齢にも拘わらずスポーツ万能のお元気の患者さんです。友愛会のハワイ旅行でもスタッフと一緒にゴルフを楽しみ、移植推進ゴルフ大会では主催者から特別賞を贈られました。物静かで歴史や民族芸能にも堪能な壱岐元校長先生、かつての教え子だった透析室のスタッフは今でも壱岐さんの前に出ると背筋がびんと伸びるそうです。

やさしく、きびしく

校長で赴任したある学校が大分荒れていて、物を壊したり、万引きをしたりしていた。

その頃は、中学校も荒れていて先生も困っていると聞いていた。これは、まず生活指導をしっかりとやる必要があると考え、先生達に中学生が問題を起こすのも、その責任は小学校にもある。小学生の時に小さいことでも悪いことは絶対許さぬ、「どう言っても聞かなければ殴っ

ていい。私が責任を持つ」と言って厳しくやってもらった。

普段はやさしく、子供からも親からも信頼されるようにと言っていた。

万引きなどした者は、親と一緒に学校に呼び出し、学級担任、学年主任、生活指導担当を参加させて、放課後に校長室で懇々と言い聞かせ、「小さいことでも決して許してはならぬ」と言って、親にも責任を持って子供の指導をしっかりとやるように言って自覚を促した。近所のスーパー等にも、できるだけ立ち寄り、万引きなどがあつたら、どんな小さなことでも必ず学校に知らせてもらうように頼んでいた。

こうしたことを一学期間続けると、二学期にはピタッと問題が起これぬようになり、警察の少年課で聞いても「お宅の学校は、何も問題はありません。自転車の二人乗りでも罪になるのですが、それもあります。」ということだった。

校長室で、座ってものを書いたり、読んでばかりいると、体力が弱くなってくると思い、球技は不得手だったが、卓球やテニスなどをやった。ゴルフは、定年退職後65歳から始めた。だから少しも上達しなかった。

今では、右眼が見えにくいので、卓球やテニスはできないが、専ら寄りになって何か運動はやりたいと思っている。

新Dr.紹介



私は昭和41年に大阪大学医学部を卒業し、第2外科に入局したあと兵庫県立西宮病院（腎移植センター）に勤務しました。

移植免疫・臨床腎移植にかかわって昭和52年からはアメリカニューヨーク州のローズウエルパーク研究所に留学しました。



移植外来 福西孝信先生

その後西宮病院で腎移植や移植コーディネーター、ターの養成、日本腎移植ネットワークの構築などに務め平

成17年末退職しました。

今年1月から腎移植患者さんのフォローアップと、長年携わった移植の拒絶反応の考え方を生かして癌の免疫療法を実施するため外来を担当しています。よろしくお願い致します。

移植外来

(火・金) 午後1時〜5時

編集後記



編集委員 若林 真紀子

昨年からの続いた厳しい寒さも終りを告げ、待望の春がやってきました。皆さんは、元気で過ごしていますか？

今年の医療費改定で、透析事情はますます厳しくなるようです。そんな中、坂井瑠実クリニックの理事長先生、院長先生はじめスタッフの方々は、隔日透析、長時間透析を積極的にすすめて下さっています。最近、私も少し時間を延長したのですが・・・。そんな環境の中で、透析をして頂ける私達は幸せです。あたり前だと思わず感謝の気持ちをもって、これからは頑張らなくてはと思っています。今日この頃です。

発行所

医療法人社団
坂井瑠実クリニック
電話〇七八一八二二一八一
〒六五八〇〇四六
神戸市東灘区御影本町二丁目二二〇
発行責任者 坂井瑠実
顧問 三上珠実
編集責任者 竹下 薫
発行日 平成十八年四月三十日
印刷 田中印刷出版株式会社
〒六五七〇八四五
神戸市灘区岩屋中町
三一―四